

射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略

～ 選ばれるまち快適安心居住都市 いみず ～

平成 29 年度進捗状況報告書

平成 30 年 9 月

射 水 市

目 次

1	報告書策定の趣旨	1
2	評価の方法	2
3	人口の状況	2
4	数値目標及び重要業績評価指標の進捗状況	4

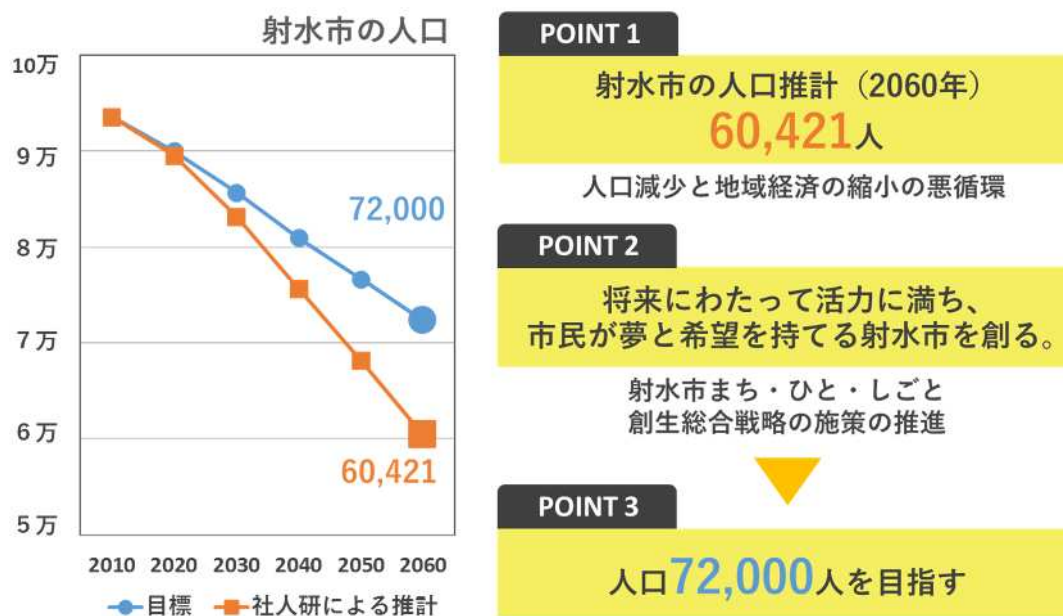
1 報告書策定の趣旨

本市では、平成27年10月に人口減少の克服と地域活性化による地方創生を強力に進め、将来にわたって活力に満ち、市民が夢と希望を持てる射水市を創るため、「射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下「総合戦略」)を策定した。

総合戦略は、4つの基本目標にそれぞれ数値目標を、施策には重要業績評価指標(KPI)を設定しており、毎年度、射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会において、施策の効果検証等を行い、必要に応じて総合戦略の見直しを行うこととしている。

今回は、計画期間の中間年度に当たる、平成29年度の進捗状況について報告するものである。

基本的な考え方



基本目標 1 結婚・出産・子育て・子どもの学びの環境づくり

基本目標 2 地域のしごとづくり

基本目標 3 市の魅力を内外に発信し、新しい人の流れづくり

基本目標 4 安全で安心して暮らせる時代に合ったまちづくり

2 評価の方法

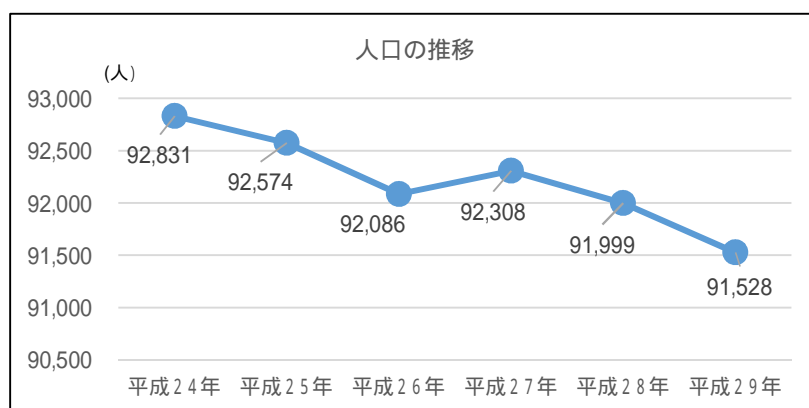
射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況を客観的に検証するため、数値目標及び重要業績評価指標を（KPI）を下記の5段階で評価を行う。

達成	・・・最終年度の目標値を達成している。
順調	・・・目標値に対して基準値からの進捗率が60%以上
概ね順調	・・・目標値に対して基準値からの進捗率が30%以上60%未満
維持	・・・目標値に対して基準値からの進捗率が30%未満
遅れ	・・・基準値を下回っている。

3 人口の状況

(1) 人口の現状

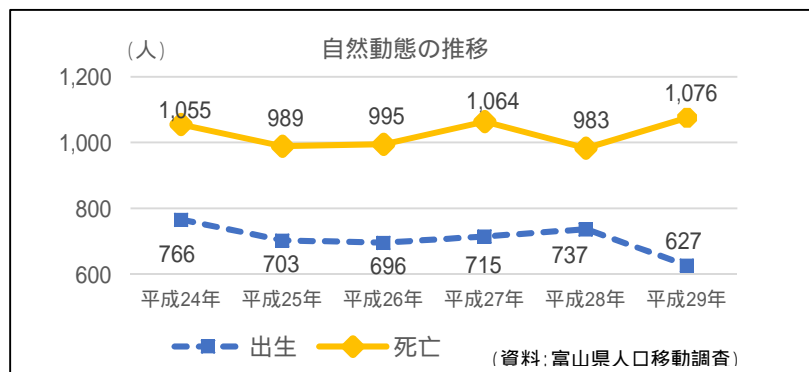
平成29年10月1日現在の本市の総人口は91,528人で、前年と比較して471人、0.5パーセントの減となった。また、国立社会保障・人口問題研究所が、平成27年度の国勢調査等に基づき試算した最新の人口推計によると、2060年時点の射水市の推計人口は61,824人で、人口ビジョン策定時（60,421人）よりも若干の増となった。



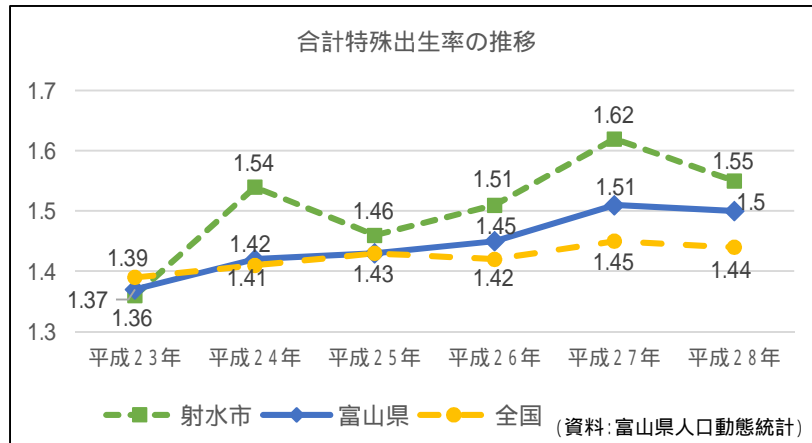
(資料：富山県人口移動調査)
平成27年は国勢調査

(2) 自然動態

平成29年の出生者数は627人で、3年振りの減少となった。一方、死亡者数は1,076人と2年振りに増加し、自然動態は449人のマイナスとなった。また、平成28年の合計特殊出生率は1.55で、前年の1.62より低下しているものの、5年連続で国、県の数値を上回った。

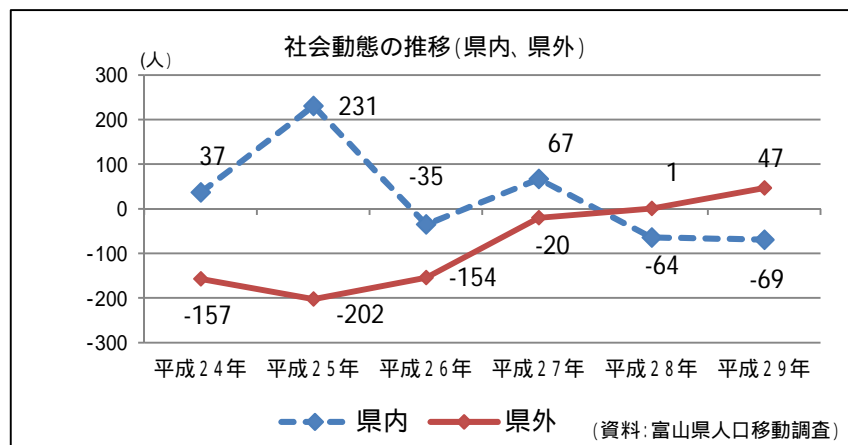
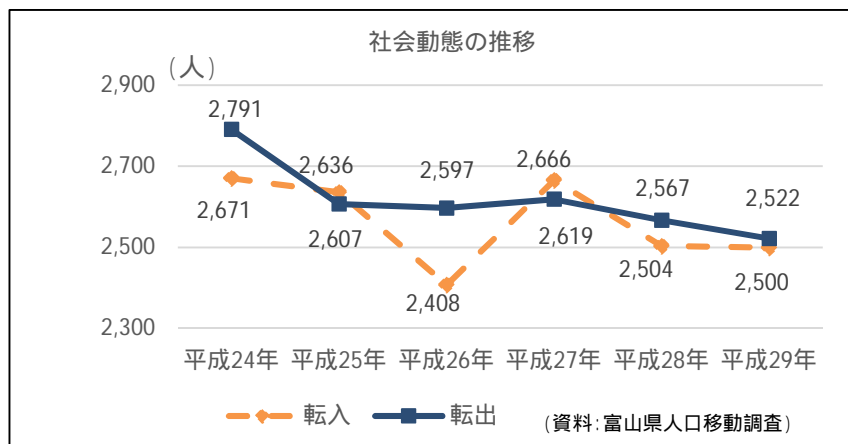


(資料：富山県人口移動調査)



(3) 社会動態

平成29年の転入者数は2,500人で、転出者数の2,522人を下回り、社会動態は2年連続でマイナスとなった。また、県内・県外の移動別では、県内の移動者数が69人の転出超過となった一方、県外の移動者数は47人の転入超過となった。

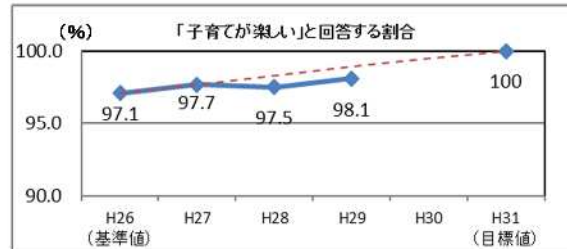


4 数値目標及び重要業績評価指標の進捗状況

基本目標 1 結婚・出産・子育て・子どもの学びの環境づくり

数値目標	基準値 (H26)	実績値 (H29)	目標値 (H31)
「子育てが楽しい」と回答する割合	97.1%	98.1%	100%

進捗度
概ね順調



<主な取組及び成果>

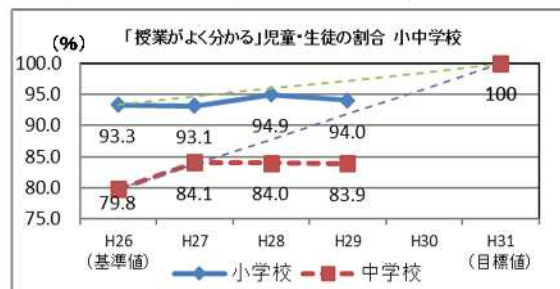
- 子ども子育て総合センターを開設し、妊娠から出産、子育てまで切れ目のない相談・支援を行うことで、安心して子育てできる体制を整えた。
- 産後4か月までのお母さんと赤ちゃんを対象に、産後ケア事業（日帰り型、宿泊型）を開始し、出産後の育児支援を図った。

<今後の取組>

- 訪問型産後ケア事業を開始する。
- 育児相談事業や母子保健推進員による地区活動を継続する。

数値目標	基準値 (H26)	実績値 (H29)	目標値 (H31)
「授業がよく分かる」児童・生徒の割合	小 93.3%	小 94.0%	小 100.0%
	中 79.8%	中 83.9%	中 100.0%

進捗度
維持



<主な取組及び成果>

- 小学校4校の中学年希望者を対象に、4名の学習支援員が週1回算数の学力補充を目的とした放課後学習を行った。
- 「できる・分かる・喜びを味わえる授業」にするため、デジタル教科書や視聴覚機器の活用が図られた。

<今後の取組>

- 個々の児童生徒の学力差に対応した指導を推進するため、補充学習の充実や授業と家庭学習の効果的な取組を推進する。
- 確かな学力の育成のための実践研究を行う学校を指定し、支援を行う。

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

進捗度	達成	順調	概ね順調	維持	遅れ
件数	1	1	1	4	2

KPI		基準値 (平成26年度)	実績 (平成29年度)	目標値 (平成31年度)	進捗
1	男女の出会いイベント数	0 件	3 件	2 件	達成
2	休日保育実施保育園数	9 園	9 園	10 園	維持
3	子育て支援センターの年間利用者数	46,752 人	46,764 人	53,000 人	維持
4	子育て情報ちやいる.comへのアクセス数	- 件/年	48,830 件/年	58,000 件/年	順調
5	3歳6か月児健康診査の受診率	98.6 %	98.9 %	100 %	維持
6	家庭学習の1日当たり時間が「10分間×学年」以上の児童・生徒の割合	(小学校)86.4 %	(小学校)88.5 %	(小学校)100 %	維持
		(中学校)57.5 %	(中学校)71.1 %	(中学校)100 %	
7	地域の行事に参加している児童・生徒の割合	(小学校)81.1 %	(小学校)80.8 %	(小学校)83.0 %	遅れ
		(中学校)58.7 %	(中学校)58.0 %	(中学校)60.0 %	
8	不登校児童・生徒数	(小学校)42 人	(小学校)18 人	減少	概ね順調
		(中学校)53 人	(中学校)61 人	減少	
9	家庭教育に関する講座・学習会の参加者数	971 人	965 人	1,050 人	遅れ

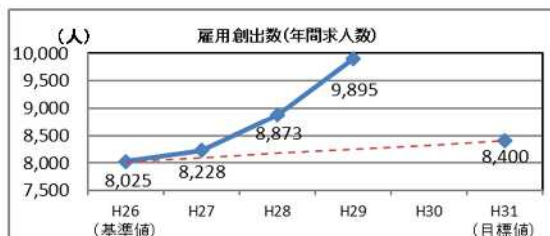
- 「男女の出会いイベント数」については、婚活サポーターズクラブ主催のイベント 2 回に加え、民間団体によるイベントが 1 回開催され、20 組のカップルが誕生した。
- 「子育て支援センターの年間利用者数」については、子ども子育て総合支援センターを開設し、保護者が利用しやすい環境づくりに努めたことにより利用者数が増加した。
- 「子育て情報ちやいる.com へのアクセス数」については、スマートフォンに最適化したサイト構成に改修し利便性の向上を図った。
- 「不登校児童・生徒数」については、中学校の数値が増加しているものの、小学校においては数値が大幅に改善した。

今後は、教育アドバイザーや医師会の協力により設けた医療教育アドバイザーによる支援の充実を図るとともに、専門機関等とも連携し、悩みを抱える児童生徒や保護者、教職員からの相談体制の強化を図る。また、「豊かな人間関係づくり支援事業」の推進及びマイサポーター制度の充実を図り、児童生徒の自尊感情を高める学級集団づくりを進める。

基本目標 2 地域のしごとづくり

数値目標	基準値 (H26)	実績値 (H29)	目標値 (H31)
雇用創出数(年間求人人数)	8,025人	9,895人	8,400人

進捗度
達成



<主な取組及び成果>

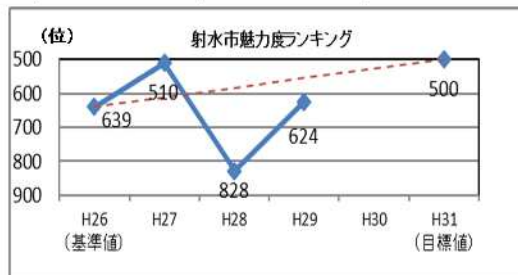
- 全国的に有効求人倍率が上昇する中、富山県及び高岡管内の有効求人倍率が全国平均を上回った。
※高岡管内有効求人倍率：H27年度1.57、H28年度1.72、H29年度1.98（富山県1.99、全国平均1.59）

<今後の取組>

- 合同企業説明会参加支援について、補助対象を三大都市圏から県外に拡充する。
- ハローワーク、商工団体と連携し、引き続き、「射水市合同企業説明会」を開催する。

数値目標	基準値 (H26)	実績値 (H29)	目標値 (H31)
射水市魅力度ランキング	639位	624位	500位以内

進捗度
維持



<主な取組及び成果>

- 東京、名古屋、長野県等の県内外で、観光及び特産品のPRのため、出向宣伝や各種物産展等への参加を積極的に実施し、射水の魅力発信に取り組んだ。

<今後の取組>

- 首都圏及び北陸新幹線沿線地域等での出向宣伝や物産展等に参加し、魅力発信する。
- 新たな観光振興計画に基づき、各種施策に取り組み、本市の魅力度を高める。

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

進捗度	達成	順調	概ね順調	維持	遅れ
件数	1	2	1	4	1

KPI		基準値 (平成26年度)	実績 (平成29年度)	目標値 (平成31年度)	進捗
10	市内企業団地分譲率	96.0 %	97.6 %	100 %	概ね順調
11	創業者数	8 件	11 件	20 件	維持
12	産学官金連携による共同研究の年間件数	4 件	11 件	15 件	順調
13	射水産特産品通販販売品目	35 品	35 品	45 品	維持
14	6次産業化推進案件数	0 件	0 件	2 件	維持
15	養殖サクラマスの年間売上高	0 千円	10,108 千円	60,000 千円	維持
16	育児休暇取得率	(女性)73.9 %	(女性)97.1 %	(女性)77.6 %	順調
		(男性)1.0 %	(男性)2.7 %	(男性)5.0 %	
17	中小企業退職共済加入者数	3,494 人	3,758 人	3,672 人	達成
18	人材確保充足数	1,799 件	1,586 件	1,900 件	遅れ

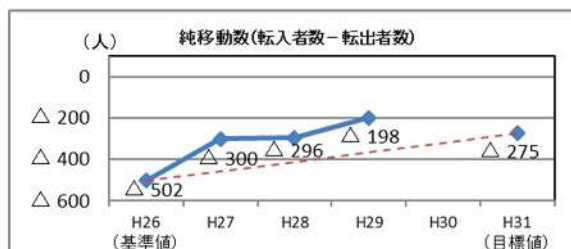
- 「市内企業団地分譲率」については、県内外の企業と精力的に交渉した結果、97.6%となった。市所有の企業団地については、小杉インターパークの1区画のみとなり、企業用地が不足していることから、企業適地調査で選定した3か所で新規に整備していく。引き続き、設備投資の情報収集を積極的に行い、新規・拡張意向がある企業を抽出し、精力的に誘致交渉を行っていく。
- 「創業者数」については、創業者支援事業補助制度を活用し11件の支援を行った。国の認定を受けた創業支援事業計画について、期間延長すると同時に、これまで対象としてこなかった「創業無関心層」に対してもアプローチし、市内の創業マインドを高める「創業機運醸成事業」を盛り込む予定である。また、本計画における支援機関の拡充（金融機関、NPO等）や支援メニューの拡充（インキュベーション施設、ビジネスプランコンテスト等）も検討していく。また、創業支援事業補助金については、商店街等新規出店補助金とあわせ、利活用しやすい内容へと改善することで、市内創業の一層の促進を図っていく。
- 「育児休暇取得率」については、企業状況調査の公表や広報等で育児休暇取得の促進を図った結果、取得率は年々上昇している。企業状況調査により、現況を把握し、公表するとともに、商工団体の会議等の機会を捉えて周知を行い、企業の意識改革や育児休暇取得の促進に努めていく。
- 「中小企業退職共済加入者数」については中小企業退職者共済制度のリーフレットの設置や広報による制度の周知に加え、中小企業者に共済掛金の補助を行ったことにより、加入者数が増加した。

基本目標 3 市の魅力を内外に発信し、新しい人の流れづくり

数値目標	基準値 (H26)	実績値 (H29)	目標値 (H31)
純移動数（転入者数－転出者数）	△502人	△198人	△275人

※直近5年間の累計

進捗度
達成



<主な取組及び成果>

- 1 首都圏及び関西圏での移住フェア等に参加し、移住者希望者に対する市のPRに努めた。
- 2 住宅金融支援機構と協定を締結し、フラット35の優遇金利から0.25%の金利引下げを行うとともに、全国版空き家バンク（2社）に登録し情報発信に努めた。

<今後の取組>

- 1 若者世帯の移住を促進するため、きららか射水移住支援事業補助金を拡充する。
- 2 呉西6市が連携して、出張相談会やセミナーへの参加する等共同で移住サポートを行う。

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

進捗度	達成	順調	概ね順調	維持	遅れ
件数	4	4	0	1	4

KPI	基準値 (平成26年度)	実績 (平成29年度)	目標値 (平成31年度)	進捗
19 移住制度を活用して県外から移住した人数	5人	20人	10人	達成
20 移住交流施設の利用率	43.1%	44.3%	45.0%	順調
21 指定宅地における建築率	79.7%	82.9%	83.4%	順調
22 若者世帯定住促進家賃補助制度を利用して、市外から転入した人数	0人	25人	21人	達成
23 住宅相談窓口利用者数	50件	45件	60件	遅れ
24 空き家の有効活用支援件数	0件	0件	1件	維持

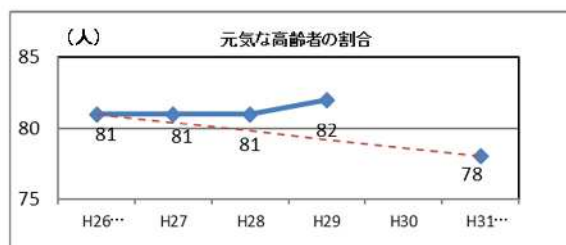
KPI		基準値 (平成26年度)	実績 (平成29年度)	目標値 (平成31年度)	進捗
25	ロケ地来訪者(川の駅)数	35,439 人	44,370 人	50,000 人	順調
26	海王丸パーク周辺入込数	1,559,200 人	1,533,600 人	1,700,000 人	遅れ
27	コミュニティバス等乗車人数	394,302 人	416,363 人	400,000 人	達成
28	万葉線乗車人数	1,253,912 人	1,194,668 人	1,258,000 人	遅れ
29	市内企業に就職したい学生の割合	- %	42.2 %	68.0 %	順調
30	学生訪問支援事業の参加学生の満足度	- %	97.7 %	97.5 %	達成
31	合同企業説明会の学生参加者数	66 人	35 人	84 人	遅れ
32	市のまちづくりについて「関心がある」と答える学生の割合	20 %	%	25 %	-

- 「移住制度を活用して県外移住した人数」については、目標値を達成した。これは、空き家情報バンクの登録情報の充実をはじめ、移住相談や住宅施策の充実などに努めたことによるものである。また、平成30年度からは若者世帯の移住を促進するため、さらさら射水移住支援事業補助金を拡充するとともに、内川周辺を移住者受入モデル地域として指定し、移住者受入促進計画を策定するなど支援を拡充するなど、さらなる移住者の増加に努めていく。
- 「指定宅地における建築率」については、順次、指定宅地の指定を行っており、指定宅地における建築率を堅調に伸ばしている。今後は、住宅金融支援機構と連携した住宅ローン「フラット35」の金利引下げの取組について、平成30年6月から空き家情報バンクに登録された指定宅地も新たに対象項目として追加するなど、更なる事業の推進を図る。
- 「空き家の有効活用支援件数」については、今後の空き家等の活用策や老朽空き家等の対策を総合的かつ計画的に推進するため「射水市空家等対策計画」を策定しており、老朽危険空き家等の解体を促進し、解体後の跡地活用を支援するため、経費の一部を助成している。今後は、地域ぐるみで取り組んでいる移住者受入モデル地域支援事業の方向性や成果を踏まえ、地域の活性化や定住促進のための空き家の有効活用について、NPO法人等に働き掛ける。
- 「コミュニティバス等乗車数」については、通勤・通学の利便性を向上させた快速便の運行に加え、新湊地区センター、射水市民病院、本庁舎、小杉駅南口、パスコ前を結ぶ路線を新設するなどの路線の見直しなどにより、乗車数は増えている。更なる利便性向上のため、平成30年度に市民ニーズ調査及びコミュニティバス利用者ニーズ調査を実施し、本市の望ましい公共交通網の方針となる、射水市地域公共交通網形成計画を平成31年度に策定する。

基本目標 4 安全で安心して暮らせる時代に合ったまちづくり

数値目標	基準値 (H26)	実績値 (H29)	目標値 (H31)
元気な高齢者の割合 (要介護認定等を受けていない者の割合)	81%	82%	78%

進捗度
達成



<主な取組及び成果>

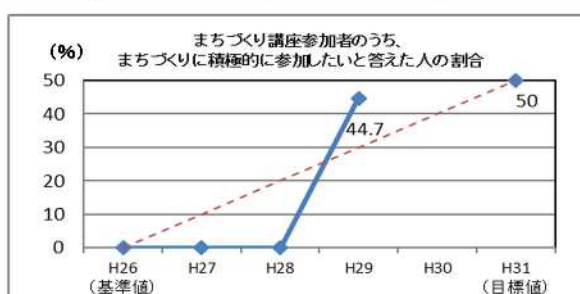
- 1 介護予防効果のある「100歳体操」の普及啓発のため、出前講座の実施や継続グループの支援を行うとともに、銭湯で「いみず湯どころ体操教室」を週1回開催した。
- 2 地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置し相談窓口の強化に加え、認知症サポーター養成講座、認知症ケアパスの普及、物忘れ・認知症相談会等を実施した。

<今後の取組>

- 1 認知症の前段階と言われる軽度認知障害高齢者を早期発見し、早期治療につなげるとともに予防についての正しい知識の普及啓発を図る「脳いきいき講座」を実施する。
- 2 引き続き「きららか射水100歳体操」や認知症予防の普及啓発に努めていく。

数値目標	基準値 (H26)	実績値 (H29)	目標値 (H31)
まちづくり講座参加者のうち、まちづくりに積極的に参加したいと答えた人の割合	なし	44.7%	50%

進捗度
順調



<主な取組及び成果>

- 1 まちづくりの活動を見て、体験する「射水まちづくりプラットフォーム～まちプラ～」及び先進「射水まちづくり講演会」を実施し、まちづくりに参画する市民の裾野を広げるよう努めた。

<今後の取組>

- 1 協働のまちづくりへの理解を広め、参画意識を高めていく事業を実施する。
- 2 地域に対する愛着を深め、まちづくりに積極的に参加しようとする機運の醸成に努める。

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

進捗度	達成	順調	概ね順調	維持	遅れ
件数	5	3	0	1	1

KPI		基準値 (平成26年度)	実績 (平成29年度)	目標値 (平成31年度)	進捗
33	講座参加者のうち、積極的に「地域デビュー」したいと答えた人の割合	なし	76.7 %	50 %	達成
34	総合患者満足度数 アンケート結果による。(5点満点)	4.04 点	4.13 点	4.07 点	達成
35	防災士取得者数	64 人	99 人	114 人	順調
36	消防団員数	728 人	716 人	757 人	遅れ
37	エコアクション21認証取得	13 社	14 社	22 社	維持
38	まちづくり講座受講者数	0 人	132 人	200 人	順調
39	見直しする公共施設数	14 件	28 件	28 件	達成
40	ICカードの多目的利用業務数	0 業務	3 業務	5 業務	順調
41	コンビニ交付利用可能箇所数	0 箇所	43 箇所	40 箇所	達成
42	呉西圏域で連携して取り組む事業数	0 件	29 件	29 件	達成

- 「講座参加者のうち、積極的に地域デビュー」したいと答えた人の割合は、76.7%と目標値を大きく上回った。平成29年度は、地域振興会や地区社会福祉協議会に呼び掛け、住民サポーター講座を2回実施するとともに、ICTを活用した高齢者支援システムの調査・研究について、富山県立大学・富山福祉短期大学の共同研究を支援した。さらには、センサーによる見守りの必要性等に係るアンケート調査を実施に加え、5地区のモデル世帯に実際に見守りセンサー等を設置し、実証実験を行った。
- 「消防団員数」は、災害支援員（OB団員）学生消防団員を導入するとともに、消防団応援の店を登録するなどにより、一定の団員を確保した。
- 「まちづくり講座受講者数」については、幅広い分野からのまちづくり人材の掘り起しを行うため、まちづくりプラットフォームを実施したほか、まちづくり講演会を開催した。今後さらに参加者数を増やすため、まちプラの内容の充実、周知の強化に取り組むとともに、まちづくり講演会については、開催時には集客力のある講師を招へいすることで、事業効果を高めていく。
- 「ICカードの多目的利用数」では、全国のコンビニエンスストアで、住民票の写し等の証明書を取得できるサービスに加え、子育てに関する申請や届出など15の手続きをオンラインで行えるサービス、更には射水市内4つの図書館において図書館利用カードとして利用できるサービスを開始することで3事業となった。平成30年7月からは、地域活性化の取組（自治体ポイント）を導入するなど、さらに利便性の向上を図っていく。